



TAX FREEで オトクな一時帰国

今年4月からルールが変わった日本の免税制度。今回はルールのおさらいと同時に、一時帰国に役立つ割引情報をまとめました。

日本でTAX FREE

日本人免税対象者Check List 全部当てはまれば免税OK

- ✓ 海外に2年以上居住していて、今後も居住予定だ
- ✓ 日本帰国後6カ月未満である
- ✓ パスポートに帰国時の入国スタンプが押されている
- ✓ ①在留証明もしくは②戸籍の附表の原本で、
2年以上の居住が確認できる
- ✓ ①②の書類の本籍地が番地まで記載されている
- ✓ ①②の書類が帰国日の6カ月前の日以降に作成されている

在留証明とは？

申請者の海外在住を証明するもの。居住エリアの在外公館で取得する
必要なもの(在上海日本国総領事館の場合)

- ・申請書・パスポート
- ・最新の臨時宿泊登記書原本(※1)
- ・3カ月以内の戸籍謄(抄)本(※2)
- ・手数料60円(現金)

※1 最新の書類だけで2年以上の在住が確認できない場合は、追加資料を提出する必要あり
※2 画像データを印刷したもので可

戸籍の附表とは？

本人の戸籍が作られてから(本籍を定めた)以降、住民票の移り変わりを記したもの。日本の本籍地で取得する

必要なもの(東京都世田谷区の場合)

本人確認書類、手数料300円(コンビニ交付は不可、国内・海外郵送取得や代理人取得は可)。

TIPS! 日本で使えるオンライン決済

日本では、日本人は「微信支付」や「アリペイ(支付宝)」が利用できない。銀聯カードは利用できるが、最近の磁気ストライプが付いていないタイプのカードは日本では読み取れないので注意が必要だ

磁気ストライプが付いているか確認を!



日本では今年4月1日(土)から、消費税免税購入に関するルールが変更。従来は、長期海外ビザを持っている日本人なら、パスポート提示で免税となったが、同日から海外在住2年以上という制限が付けられたうえ、在留証明などの資料を提出することが必要となった。

免税で買い物をするための条件は、具体的には上記チェックリストの通り。準備する資料は、海外居住地で①在留証明を取得するか、日本の本籍地で②戸籍の附表を取るかの二通りだ。ただし①の場合は事前に日本で戸籍謄(抄)本を用意する必要があるうえ、過去2年分の臨時宿泊登記などが必要となるので少々面倒。帰国後に②を取得するか、帰国前に家族の人に代理で取ってもらうのが便利そうだ。ただし帰国後に一時的にでも住民票を戻した場合は、戸籍の附表が無効となる可能性がある。要問合せ。

ほか、パスポートに帰国時のスタンプが必要だったり、書類に本籍地の番号までの記載が必要だったり細かいルールも多い。日本観光庁のホームページから内容をしっかりと確認しよう。ちなみに免税での購入は、購入者のデータが約7年保管される。購入に使った資料の写しが、店内で約7年保管されることにも留意しておきたい。

日本では今年4月1日(土)から、消費税免税購入に関するルールが変更。従来は、長期海外ビザを持っている日本人なら、パスポート提示で免税となったが、同日から海外在住2年以上という制限が付けられたうえ、在留証明などの資料を提出することが必要となった。

消費税免税へのステップ

空港でTAX FREE

浦東国際空港・虹橋国際空港

・右のミニプログラムに表示されるQRコードを提示で、免税店「日上免税行」の買い物が5%OFFに!



成田国際空港・羽田国際空港

・オンラインショップ「JAPN DUTY FREE」で事前購入要約をすると全商品5%OFFに!

URL duty-free-japan.jp/narita/jp(成田)

URL duty-free-japan.jp/haneda/jp(羽田)



関西国際空港

・オンラインショップ「KIX DUTY FREE」で事前購入要約をすると商品5%OFFに!

URL www.kixdutyfree.jp

・会員カード「KIX-ITMカード」入会で免税店での買い物が5%OFFに!



「日免日上」ミニプログラム

中国免税品集団が運営するネットショップ。免税品ではないが、各ブランド正規品がリーズナブルに買えるので人気だ。誰でも購入でき、初回は300元以上購入で15元引き。セール期間中はさらにお得な商品が登場するので要注目だ。



市内免税店「中服免税CNSC」(中国人限定)

市内で免税品が買える大型店。免税対象は、海外から帰ってきて180日以内の中国人に限られるが、2階建てでゆったり商品を吟味できるのが好評。

住所 万航渡路889号悦達889広場1階(×長寿路)

TEL 6271-1050

営業時間 10時~22時



また市中心地にも免税店を展開しているが、こちらは中国人のみ利用可。もし、家族や友人に海外帰りの中国人がいたら一緒に買い物を楽しむのもいいかも。

一方、中国の免税店ブランド「中国免税品集団」は空港以外にもショップを展開。微信ミニプログラムショップ「日免日上」では免税品ではないものの、比較的リーズナブルな正規品が買えると人気だ。試しに「アネッサ」の日焼け止めを検索してみると、同ショップでは90ミで141元、淘宝公式ショップでは60ミ228元、淘宝天猫国際ショップでは90ミ139元。日本人は購入できない海外輸入品と同じ価格帯なのはうれしいところだ。

ミニプログラムもお得

一方日本の各国際空港ではほぼすべての免税店で、ネットから事前予約すれば、商品が5%オフになる。戻りのチャタインが混み合っていて、免税店を覗けなかったという悲しい事態に備えて、事前に買っておくのも手だ。さらに関西国際空港では、会員カード「KIX-ITMカード」を作ることでも免税品が5%オフで購入できる。こちらのカードは年会費無料で、免税店ほかドラッグストアやレストラン、駐車場でも5~25%の割引が受けられるので、関空ユーザーは作っておいて損はないはず。

空港でも計画的に買い物

帰国時の楽しみといえば、空港免税店! こちらもお得情報をまとめておこう。
まず出発時の浦東国際空港や虹橋国際空港での買い物。こちらはなんと、上記ミニプログラムのQRコードを提示すればいつでも商品が5%になるといふ。タバコや化粧品などを日本へのお土産に買いたい人は、ぜひ利用してほしい。